

おぢや

市議会だより



NO. 92

31. 4. 25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



小千谷女子プロジェクト

小千谷市陸上競技協会の女子長距離支援プロジェクトは7年目を迎えます。一般・高校生・中学生の頑張りで、新潟県女子クロカン5連覇、新潟県女子駅伝においては、平成30年は準優勝、平成29年は12年ぶりの優勝を果すことができました。

新年度も小・中・高校生の持っているすばらしい走力・能力を引き出し、全国の舞台へ大きく飛躍してもらうことを目指し、女子長距離選手の強化と支援をさせていただきます。

- 第1回定例会議決結果 P2～3
- 常任委員会報告 P3～4
- 一般質問 P5～9
- 議会日誌 P10
- 雪あかり、編集後記 P10

—主な掲載内容—

第 1 回 定 例 会 議 決 結 果 (2月26日から3月18日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第12号	小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第13号	小千谷市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第14号	小千谷市文化財保護条例の一部改正	〃	〃
	議案第15号	小千谷市文化財調査審議会設置条例の一部改正	〃	〃
	議案第16号	小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	〃
	議案第17号	小千谷市ガス供給条例の一部改正	賛成多数	〃
	議案第18号	小千谷市水道条例の一部改正	〃	〃
	議案第19号	小千谷市工業用水道条例の一部改正	〃	〃
	議案第20号	小千谷市下水道条例の一部改正	〃	〃
	議案第21号	小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部改正	〃	〃
	予 算	議案第1号	平成31年度(2019年度)小千谷市一般会計予算	全会一致
議案第2号		平成31年度(2019年度)小千谷市国民健康保険特別会計予算	〃	〃
議案第3号		平成31年度(2019年度)小千谷市介護保険特別会計予算	〃	〃
議案第4号		平成31年度(2019年度)小千谷市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	〃
議案第5号		平成31年度(2019年度)小千谷市工業団地事業特別会計予算	全会一致	〃
議案第6号		平成31年度(2019年度)小千谷市ガス事業会計予算	賛成多数	〃
議案第7号		平成31年度(2019年度)小千谷市水道事業会計予算	〃	〃
議案第8号		平成31年度(2019年度)小千谷市工業用水道事業会計予算	〃	〃
議案第9号		平成31年度(2019年度)小千谷市下水道事業会計予算	〃	〃
議案第22号		平成30年度小千谷市一般会計補正予算(第7号)	全会一致	〃
議案第23号		平成30年度小千谷市工業団地事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第24号		平成30年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃	〃
その他		議案第10号	専決処分(平成30年度小千谷市一般会計補正予算(第6号))	〃
	議案第11号	住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	〃	原案可決
	議案第25号	財産の処分【鴻巣産業団地分譲地】	〃	〃
	議案第26号	小千谷市財政調整積立金の処分	〃	〃
	議案第27号	新潟県市町村総合事務組合規約の変更	〃	〃
	議案第28号	定住自立圏形成に関する協定の変更	〃	〃
	議案第29号	小千谷市営土地改良事業(災害復旧)の施行	〃	〃
請 願	請願第1号	基礎年金額等の改善と年金の毎月支給を求める請願	賛成少数	不採択
発 議	発議案第1号	天皇陛下御即位30年を祝す賀詞に関する決議	全会一致	原案可決

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から1年間ご覧いただけます。)

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/>



議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安康一	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	上村行雄	内山博志	佐藤隆一	長谷川有理	阿部正行	久保田陽一	山賀一雄	田中淳	本田剛	久保田久栄	風間順一
議案第4号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第6号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第7号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第8号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第9号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第17号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第18号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第19号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第20号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第21号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
請願第1号	不採択	3	11	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×

※ ○は賛成、×は反対、議長（田中淳）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案16件について、14件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案16件全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第12号 小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、長期間労働の是正に向けて改正を行うものです。

○議案第13号 小千谷市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、学校教育法の改正により同法の引用箇所に項ズレが生じたことに伴い、改正を行うものです。

○議案第14号 小千谷市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第15号 小千谷市文化財調査審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について

以上の2議案は、小千谷市内

にある指定文化財以外の歴史的文化的価値のある建造物について、適正に保護しつつ、積極的に活用を図ることで、市民の文化の向上や観光、まちづくりに寄与することを目的に、新たに登録制度を導入するため、条例の一部を改正するものです。

について

○議案第17号 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国や県の補正予算により実施する事業に係る経費、（仮称）健康子育て支援センター施設整備工事費の増額、企業立地促進事業補助金の計上など、緊急を要する経費についての予算の補正で、歳入歳出それぞれ1億8479万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ191億7027万3千円とするものです。

○議案第18号 小千谷市水道条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第24号 平成30年度小千谷市下水道事業会計補正予算（第2号）について

○議案第19号 小千谷市工業用水道条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国の平成30年度第2次補正予算成立に伴い社会資本整備総合交付金の内示があったことから、管渠内カメラ調査業務委託料及びその財源となる国庫補助金を増額するものです。

○議案第20号 小千谷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第21号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、対前年度比7・1%増の歳入歳出それぞれ185億5千万円とするものです。主たる事業は、旧小千谷総合病院及び旧魚沼病院跡地活用事業や防災公園整備事業、病児病後児保育事業や幼児教育の無償化対応などです。

○議案第22号 平成30年度小千谷市一般会計補正予算（第7号）

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第21号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第20号 小千谷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第21号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第22号 平成30年度小千谷市一般会計補正予算（第7号）

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第21号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第20号 小千谷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第21号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第22号 平成30年度小千谷市一般会計補正予算（第7号）

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第21号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第1号 平成31年度（2019年度）小千谷市一般会計予算について

○議案第6号 平成31年度（2019年度）小千谷市ガス事業会計予算について

ガスの年間供給量は前年度と比較して1・7%の増で見込み、収益的収入及び支出の収支差引額は2127万7千円の計上となります。主な事業はガスホルダー1開放検査、ガス管耐震化事業等です。

○議案第7号 平成31年度（2019年度）小千谷市水道事業会計予算について

年間総給水量は前年度比1・1%の減で見込み、収益的収入及び支出の収支差引額2億8727万4千円の赤字計上となります。主な事業は旧浄水場除却事業、浄水場機能強化事業、北部高区配水区域再編成事業等です。

○議案第8号 平成31年度（2019年度）小千谷市工業用水道事業会計予算について

年間総給水量は前年度と比較し、8・2%の減で見込み、収益的収入及び支出の収支差引額1398万7千円の計上となります。主な事業は工業用水道施設更新事業等です。

○議案第9号 平成31年度（2019年度）小千谷市下水道事業

業会計予算について

年間有収水量は前年度比0・8%の減で見込み、収益的収入及び支出の収支差引額は4億3541万4千円の計上となります。主な事業は農業集落排水処理施設更新事業等です。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案5件について、慎重に審査した結果、議案5件全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件は採択しないものと決しました。

○議案第2号 平成31年度（2019年度）小千谷市国民健康保険特別会計予算について

本案は、歳入歳出の総額をそれぞれ31億5313万8千円とするものです。

○議案第3号 平成31年度（2019年度）小千谷市介護保険特別会計予算について

本案は、歳入歳出の総額をそれぞれ37億6144万4千円とするものです。

○議案第4号 平成31年度（2019年度）小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

本案は、歳入歳出の総額をそ

れぞれ7億6567万7千円とするものです。

○議案第5号 平成31年度（2019年度）小千谷市工業団地事業特別会計予算について

本案は、歳入歳出の総額をそれぞれ513万円とするものです。

○議案第16号 小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制度について

本案は法律の改正に伴い条例の一部を改正するものです。

○請願第1号 基礎年金額等の改善と年金の毎月支給を求める請願

採決の結果、賛成少数で採択しないものと決しました。



市議会を傍聴してみませんか

第1回臨時会日程

5月14日(火)

第2回定例会日程

6月7日(金) 第1日 議案上程説明
6月12日(水)～14日(金) 各常任委員会で審査
6月24日(月) 第2日 一般質問
6月25日(火) 予備日 一般質問（質問者が多い場合に開催）
6月27日(木) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局（TEL 83-3505）へお問い合わせください。

委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/>



市政の内容を聞く

一般質問

緊急現場の時間短縮・児童虐待・関係人口

住安 康一 議員

質問 緊急現場における時間短縮に向けた施策のため、新小千谷方式を構築すべき。また聴覚・言語機能障がい者が円滑に消防への通報を行えるシステムである消防庁のNet119緊急通報システムを導入すべき。

答弁 社会福祉協議会で実施の救急医療情報キットシステムや登録者を対象として、保健福祉課と消防本部において情報を共有し、緊急現場における活動の

迅速化を図ると共に、医療機関への的確な情報伝達のシステムが確立している。また、聴覚・言語機能障がい者からの「ファクス119」及び「メール119」により十分に対応できる。

質問 児童虐待防止の体制は。

答弁 「小千谷市子どもを守る地域連絡会」を設置し、連携・協力体制を構築している。

(仮称)健康・子育て支援センター内に組織の変更を踏まえて対応する。

質問 生後すぐの虐待を防ぐ施策が重要。市としてどのように取り組むのか。

答弁 明年4月には、妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や、支援をワンストップで対応する「子育て世代包括支援」体制を整備し、虐待リスクの早期把握と適切な支援に努める。

質問 関係人口に関しての市長の今後の考え方、方針を伺う。

答弁 推進する事業主体は現状においては市が旗振り役となつて、組織及び財政面などの仕組みづくりを担う。関係者づくりの拡大は、首都圏を中心に地縁・学校出身者の会を基盤に基礎組織づくりを進め、新たな郷土会的な団体設立を目指す。必要に

より、SNSやインターネット利用による会員層を新たに獲得したい。



小千谷市の子育て支援施策について

佐藤 隆一 議員

質問 小千谷市が行っている「保育ニーズアンケート調査」の目的と結果について。

答弁 次期「小千谷市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料、現在の利用状況や希望について、1600人から回答を得て集計中です。

質問 「子ども・子育て支援会議」で、アンケート結果はどのように生かされるのか。

答弁 学識経験者・子育て支援関係者・保護者など12人で構成される支援会議では、支援の現

状や課題を踏まえて、6回程度の会議を予定。次期計画にアンケート結果を反映させます。

質問 放課後子ども教室、学童クラブ、木のこんの実施主体と目的・内容について。

答弁 放課後子ども教室は、教育委員会が毎週月曜日の午後3時から5時まで市内5校で実施しています。学童クラブは、社会福祉協議会など2法人が実施主体で、放課後や長期休業日に保護者が家にはいない児童約500人を対象に、6小学校区10クラブを開設しています。遊びや宿題などができる場を提供することにより、健全な育成を図ることを目的にしています。「木のこん」は、子育て親子の交流・相談の場として、子育て支援に関する講座などを開設しています。

状や課題を踏まえて、6回程度の会議を予定。次期計画にアンケート結果を反映させます。

質問 放課後子ども教室、学童クラブ、木のこんの実施主体と目的・内容について。

答弁 放課後子ども教室は、教育委員会が毎週月曜日の午後3時から5時まで市内5校で実施しています。学童クラブは、社会福祉協議会など2法人が実施主体で、放課後や長期休業日に保護者が家にはいない児童約500人を対象に、6小学校区10クラブを開設しています。遊びや宿題などができる場を提供することにより、健全な育成を図ることを目的にしています。「木のこん」は、子育て親子の交流・相談の場として、子育て支援に関する講座などを開設しています。

教育長答弁 5年生の理科で、「電気の仕事」について学習するために見学しています。



錦鯉といえば小千谷、予防接種助成について

森本恵理子 議員

錦鯉といえば小千谷、のイメージ戦略による街づくりについて

質問 インター出口の錦鯉オブジェやサンプラザ通りにある錦鯉のサインは歩行者や運転者の視点からやや高いところにある気づかれにくい。公共サインは「市民のおもてなしの心のあらわれ」と言われる。小千谷らしさを表すために錦鯉をデザインの主眼に置き、住んでいる人も訪れる人も見やすくわかりやすい「小千谷市サイン計画」策定の時期に来ているのでは。

「市民のおもてなしの心のあらわれ」と言われる。小千谷らしさを表すために錦鯉をデザインの主眼に置き、住んでいる人も訪れる人も見やすくわかりやすい「小千谷市サイン計画」策定の時期に来ているのでは。

答弁 今後、ガイドラインの作成も視野に入れ、統一的なデザインや色となるよう努める。

質問 錦鯉の里が魅力溢れるオンラインワンの施設であり続けるために、見せ方、在り方について早急に考え取り組む時期に来ていると考えるが見解を伺う。

答弁 国のクールジャパン戦略の動向を注視しながら、施設の見せ方、在り方について、国や県など関係する機関と協議する。小児の予防接種助成について

質問 おたふく風邪は高確率で一生涯治らない聴覚障害を引き起こすことが近年わかった。もうすぐおたふく風邪の流行期がやってくる。公費助成の対象でないため接種率は3割程度ではない。おたふく風邪に起因す



る聴覚障害はワクチンで防げるということを知るとともに、公費助成の対象とすべきでは。
答弁 法律に基づかない任意接種となっている。混合ワクチンの開発が進められているため、当市としては定期接種化を見守りたい。

LGBlの方々への理解、対応、支援について

久保田陽一 議員

質問 市長のLGBlの対しての認識、理解、小千谷市の方針。

答弁 「人権に関する市民意識調査」にも表れているとおり、理解は高くはないものと認識している。今年度策定した「小千谷市人権教育・啓発推進計画」に基づき、LGBlを含めた人権に関する周知と啓発を進めたい。

質問 LGBlに関する理解のためにも職員研修が必要では。
答弁 担当職員については県等が行う研修に参加し、知識の習得に努める。他の職員については、LGBlも含めた人権研修の開催を考えている。

質問 市民への情報発信、セミナーなどの開催が必要では。
答弁 正しい情報をホームページ等でお知らせするとともに、セミナーの開催についても検討していく。



質問 防災計画における性的マイノリティ支援の明記や、避難所運営におけるLGBl配慮の取組みが必要では。
答弁 避難所運営においてLGBlなどの性的マイノリティの方への配慮も必要。地域防災計画への掲載等は国県等の関係機関、団体等の取組を参考にする。

質問 パートナーシップ制度に対する見解と導入の可能性は。
答弁 この制度により民間ではサービスが受けられる動きが一部で出てきている。今後、導入

した自治体の効果や県内他市町村の動向を注視したい。
質問 学校関係者への研修や、児童生徒への教育が必要では。
教育長答弁 LGBlへの対応は配慮すべき課題であると認識し、教職員の研修を学校現場と相談しながら検討したい。児童生徒へは人権教育を推進したい。

市職員の働き方について

佐藤 栄作 議員

質問 小千谷市は「働き方改革を推進するための関連法律に関する法律」について、どのような対応をしているのか。
答弁 魅力ある職場づくりを進めることで、職員が意欲を持ち、その能力を存分に発揮でき、それが市民サービスの向上につながる。時間外労働の上限規制については、「小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正条例案」が議決された後、「小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する規則」において、法律で定める月45時間、年360時間を原則とした内容を定める。年次有給休暇の確実な取得

については年5日以上自発的な職員に対して周知することももちろん、職員が職場への配慮やためらい等のため取得しにくい状況がないよう、所属長に対しても働きかけていく。

質問 新規採用職員の研修で、特に力を入れているところについて。
答弁 新規採用研修は年2回実施し、年度当初の研修は、公務員としての自覚と意識の確立を図ることに力を入れている。採用後半年経過後の研修は、中越大地震の経験や教訓、中山間地の実態を学ぶ研修を実施している。職員として困難な課題にどう取り組んでいくのか考える点を重視している。

新規採用研修は年2回実施し、年度当初の研修は、公務員としての自覚と意識の確立を図ることに力を入れている。採用後半年経過後の研修は、中越大地震の経験や教訓、中山間地の実態を学ぶ研修を実施している。職員として困難な課題にどう取り組んでいくのか考える点を重視している。



質問 人事異動の引き継ぎについて。

答弁 業務は係単位で行われており、前任者は引継書を作成しそれに基づいて後任者に引き継ぎを行い、異動しても業務が行えるよう情報を係全体で共有している。

公平な社会実現と 市民生活のリスク 軽減

長谷川有理 議員

質問 東京小千谷学生寮の女子入寮を実現すべき。早期対応が不可能なら女子への家賃補助等で公平な支援を行うべき。

質問 東京小千谷学生寮の女子入寮を実現すべき。早期対応が不可能なら女子への家賃補助等で公平な支援を行うべき。



東京小千谷学生寮

教育長答弁 男女平等が大原則、私の任期中に頑張りたいが奨学会の判断なので確約といえない。

質問 男女を公平・公正に支援する小千谷奨学会となるべき。

教育長答弁 改修が可能でないかと模索中。奨学会理事の一人として前向きに力を尽くしたい。

質問 アスベスト処理の状況は、2つの旧病院建物のアスベスト

答弁 小千谷市所有にならない内に調査は出来なかった。アスベストの処理費用は旧魚沼病院は厚生連が9800万円全額負担する。旧小千谷総合病院は市が2億5千万円全額負担する。

質問 市内公共施設や民間の空き家等、危険なアスベスト対策を市が指導出来ているのか。他市も行っている調査や解体の補助制度を当市は創設すべき。

答弁 県と連携する中で指導。補助制度は国の交付金支援措置の活用が可能な2020年度までの調査結果に基づく解体を実施する所有者の意向を確認し検討。

質問 10連休時の市民サポート万全か

答弁 市立保育園は2か所程実施検討中。ニーズ調査で決定。ファミサポの預かり支援は利用

可能。学童クラブについて、協会は5月2日に集約し開設検討。苗場は期間中6日間開設予定。おぢや童夢は期間中休業。ひよしの家の共用型サービスは営業予定。ごみ収集は4月30日から5月3日まで収集する。広報おぢや4月10日号で医療・公共窓口・ごみ収集等の行政サービス状況周知する。

消費税、自衛隊への 名簿提供、国保 引き下げ

内山 博志 議員

質問 消費税が導入され30年。この間、消費税収は、約372兆円。同期間の法人3税は290兆円減少した。法人税や富裕層への減税が大きな要因だ。実質賃金や消費支出が低迷している時に増税したら、くらしが大変になることは明らかだ。消費税10%へ増税された場合の小千谷市予算の影響は。国に消費税増税に頼らない道を探ることを求める考えは。

答弁 平成31年度予算の影響額としては、約850万円の増額が生じると見込んでいます。国に別の道を探ることを要求する考えはない。

質問 安倍首相は、憲法9条に3項を入れ自衛隊を書き込むだけで何も変わらないと言っているが、1項2項の戦争しない、武器を持たない、威嚇もしないというものが空文化するのは常識だ。自衛隊が災害において活躍し、多くの国民は感謝しているが自衛隊が外国に出て戦争しないではないというのにも願いだ。安倍内閣の集団的自衛権行使容認、安保法制強行で自衛隊の性格は大きく変わった。自衛隊の名簿提出要請には強制力がない。憲法や市の個人情報保護条例に照らしても問題だ。少なくとも本人の承諾を得るべきだ。

答弁 自衛隊法施行令、住基台帳法により交付している。今年度分から名簿提出を公表する。

質問 国保引き下げの声が多い。均等割は所得がなくても扶養家族が多いと金額が高くなる。全国では均等割の減免の動きが出ている。見直す考えがあるか。国への交付金の増額要請は。

答弁 現段階で見直しはしない。国へは市長会など通して要請する。

農業問題について

阿部 正行 議員

質問 JAグループの自己改革の取組みと支援について。

答弁 この取組みについては、農協本来の意義を再認識することで農業者の所得を向上させ、生産の拡大や地域の活性化を目指すものであり、行政としても後押ししたい。

質問 所得向上について。

答弁 当市の農業は日本一のブランド米「魚沼産コシヒカリ」を有しているが、近頃の消費者の変化により、コシヒカリ以外の生産の誘導や園芸振興等国の



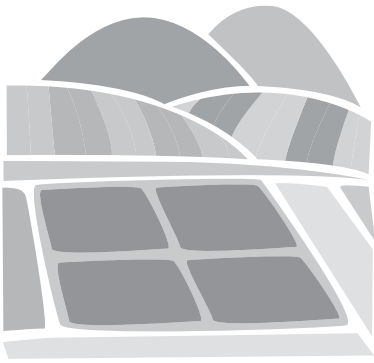
支援策を含めて農業振興に努めたい。

質問 認定農業者の普及は。

答弁 この制度はやる気と能力のある農業者を認定するもので、税制や補助金等の支援策を講じるものであり、市のホームページ活用等啓発に努めたい。

質問 農業振興地域整備計画の見直しについて。

答弁 この計画は農業の健全な発展と国土資源の合理的な活用を目的に都道府県が定めた農業振興地域を農業施策の実施に向け、市町村が計画策定するものであり、今年9月に正式に変更できるように、現在大詰め作業を行っている。



答弁 国は農地の地域の担い手の集積を目指し、この制度を創設したが、この4年間で55・2%の6・5ポイント上昇した。

目標には程遠いが、「人・農地プラン」を核とし、農業委員会、JA等一体となって、農地の集積・集約に努める。

若者世代の労働力確保・スマホ校内持ち込み

大矢 弘光 議員

■若者世代の労働力確保

質問 現状把握、課題について。

答弁 売り手市場に伴い、学生の大手企業志向、就職活動の早期化への早急な対応が課題と考える。

質問 行政の役割について。

答弁 労働力確保については行政だけで解決できないが、短期的には「人材採用支援セミナー」や「求人情報発信支援事業」などによる情報提供や発信事業を推進することに加え、若者が働きたくなる企業、事業所などの立地を促進し、長期的には「おぢやしごと未来塾」や「インターンシップ」、「企業見学」などの

キャリア教育などを通じて、若者層から小千谷市の産業への関心度を高めていくなどの環境整備が役割と考える。

■携帯電話・スマホの校内持ち込みについて

質問 登下校時の緊急時安否確認への要望等により議論されている、スマホの校内持ち込みについて基本的な考えは。

教育長答弁 現時点で学校への持ち込みは考えていない。各学校における災害等の緊急連絡の手段についてはメール配信や電話での連絡網により対応する。

質問 保護者からの所持要望は。

教育長答弁 放課後の塾やスポーツ活動などにより、所持の要望が若干ある。

■2020年教育のICT化

質問 デジタル教科書、タブレット教材の導入について。

教育長答弁 デジタル教科書については、学校からの要望で、



計画的に整備する。タブレット教材は、導入コストや費用対効果などを学校現場と共に検証し、導入について検討する。

財政運営の見通し等について

山賀 一雄 議員

質問 総合計画と実施計画における財政計画歳出額の差について。

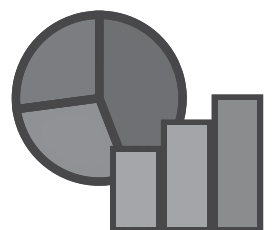
答弁 総合計画財政計画策定後、地方交付税措置のある公共施設等適正化事業債の制度化等により、事業費の増加が可能となり、差額が生じたもの。

質問 義務的経費比率、経常収支比率の推移をどう見込むか。

答弁 義務的経費比率は同程度で推移し、経常収支比率は財政を硬直化させるほどの大きな比率の増加はないと見込んでいる。

質問 市債償還のピークはいつか、また、残高はどのくらいか。

答弁 市債残高のピークは、平成31年度で残高約171億4千万円と見込んでいる。市債償還のピークも平成31年度で、それ以降減少していくと見込んでいる。



質問 公債費比率、起債制限比率はどのように推移するか。

答弁 交付税措置のある有利な市債を活用することで、比率が増加しないように努める。

質問 実質公債費比率、将来負担率はどのように推移するか。

答弁 両比率とも平成31年度に市債の増高による一時的な増加が見込まれるが、それ以降、平成29年度決算時の比率と同程度と見込んでいる。

質問 財政調整基金残高はどのように推移するか。

答弁 平成31年度末で約17億円を見込んでおり、その後、数年間は約16億円程度で推移する。

質問 圏域構想に対する見解は。

答弁 平成の大合併時、自立を選択した当市であり、圏域は自治体がまとまる必然性が必要。地理的な要因だけで主導する機械的な圏域設定では、自治体の意向が無視されるため「どちらかといえば反対」とした。

圏域構想と総合戦略、会計年度任用職員

駒井 和彦 議員

質問 圏域構想は地方分権に逆行する発想であり、地域特性に応じた多様な自治体の在り方を尊重すべきと思うが見解を伺う。

答弁 国の主導による一方的な圏域設定があるならば、地方自治体の声を無視したもので「どちらかといえば反対」である。

質問 農山村地域衰退に繋がらない調和のとれた地方創生に対しての見解を伺う。

答弁 定住自立圏形成の目的に沿って、今後も各種計画に基づき、地域のバランスがとれた施策に取り組み。

質問 地方創生関連交付金の取り組み成果に応じた算定について。

答弁 各種交付金において、重要業績評価指標設定はある程度必要であるが、出生率の向上など長期的な動向により結果が出る指標もあることから、短期的な成果が全てではないと考える。

質問 地方創生を進めるための外国人労働者と地域の共生へどのように取り組むか。

答弁 定住自立圏の中の多文化共生社会推進事業等に取り組み、相互理解を深めながら、共生社会の実現に努めていく。

質問 会計年度任用職員制度により臨時職員の雇用条件は現行より良くなるのか。

答弁 給与は現行を維持し、休暇は国の指針を踏まえ検討する。

質問 今後の方針やスケジュールについて。

答弁 国の指針を踏まえ、職員組合と意見交換する。年内に給料等制度改正に必要な条例案を提案予定である。

質問 正職員への採用の影響は。

答弁 職責の重さが違う。正職員が担うべき業務は、正職員が担うものと考えている。



国土調査事業、固定資産税路線価の検証について

風間 順一 議員

質問 桜町字殿一面地区の調査をしないでなぜ次に進んだのか。

答弁 住宅が連担する区域を考慮し投資効果の大きい市街地を優先し、区域を定めた。

質問 ニノ宮川の河川改修後の公図が改修前と同じだが。

答弁 昭和38年に国土地理院の空中写真で確認している。現在の河川管理者である新潟県に適切に処理していただくよう情報提供、協議したい。

質問 山本山山頂の三角点は正確な位置に設置できたのか。

答弁 中越地震により南西方向に22・2センチ移動し、垂直方向には50・56センチ上昇した。現在は新しい座標値に変更されている。

質問 高速道路付近の境界が東に大きく移動しているが対策は。

答弁 国土地理院により示された数値補正により、移動後の境界位置と座標値の整合を図っている。

質問 法定外公共物の調査について問題はなかったか。

答弁 公共物が原因での筆界未定はない。当事者間の調整が原因により16件生じているが平成14年以降は生じていない。地積測量図など活用し、所有者不明の筆界未定を回避している。

質問 当市の進捗率と今後の取り組み予定について。

答弁 進捗率は、26・08%。市街地を調査し、その後桜町、三仏生地区の一部未実施区域の調査をしたい。

質問 取組の強化拡大が必要だ。

答弁 国や県の予算確保に努め、事業を円滑に推進していく。

質問 償却資産申告の種類別明確細書に未償却残高を記載すべき。

答弁 記載は考えていない。



境界が東に大きく移動

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

（平成31年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。）

一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <https://www.city.ojija.niigata.jp/>



議会日誌

1月～3月

〈1月〉

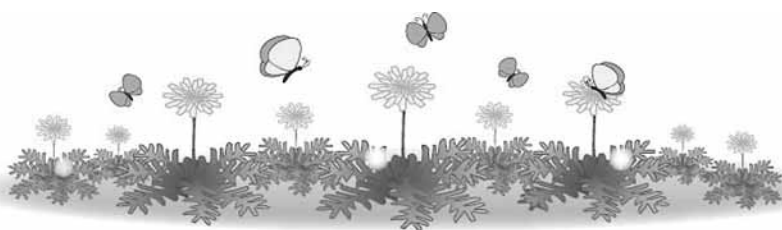
- 7日 議会報編集委員会
- 15日 議会報編集委員会
- 23日 総務文教委員会施設訪問と教育委員との意見交換会
- 25日 議員協議会
- 〃 議員全員協議会
- 14日 議会運営委員会 本会議(第2日)
- 15日 本会議(第3日)
- 〃 議会報編集委員会
- 〃 議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会 本会議(第4日)
- 〃 議員全員協議会
- 28日 議会報編集委員会

〈2月〉

- 6日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会(東京都)
- 8日 県市議会議長会春季定期総会(村上市)
- 12日 議会改革検討委員会
- 14日 全国市議会議長会理事會・評議員会(東京都)
- 15日 議員協議会
- 〃 議員全員協議会
- 19日 議会運営委員会
- 26日 第1回定例会(本会議)
- 〃 議会報編集委員会
- 27日 常任委員会連合審査会
- 28日 常任委員会連合審査会

〈3月〉

- 1日 常任委員会連合審査会
- 5日 総務文教委員会
- 〃 総務文教委員協議会
- 6日 民生産業委員会



74

小林 智光(片貝茶畑)



ご縁を頂いてペンを取らせて頂きました。片貝町の浄照寺の小林と申します。

私は元々お寺に生まれたのですが、京都の大谷大学・大学院に進み、縁あってそのまま京都の呉服問屋に就職しました。

そして2010年に片貝に帰りお寺の事をするようになって9年が経ちました。

毎日のお参りや法事などの中ではお菓子を頂いたり、旅行のお土産を頂いたりします。

畑作業の横を通りがかれば「野菜持ってかんかね」とお裾分けを頂いたり。春や秋に境内の掃除をしていると手伝って下さったり。

気がつけば「して頂いた」事

ばかりでした。こういう事を通して育てて頂いたんだな、と感じています。

浄照寺では月一回の法話会や様々な年中行事を大切に執行っています。一方で、冬を除く「ほほ」月一回のペースで『寺カフェ』なるものを開催しています。何もありませんがお茶とお菓子を置いて本堂と境内を解放しています。春と秋にはバリスタを招いての本格ドリッブコーヒーや、夏には竹を切ってロングコースの流し素麺も。

お寺といえば法事や葬式だけと思われがちですが、もっと自由に使えてもいいのかな、と思います。境内で子供達が遊んでいると、知らず知らず友達になつたり、親同士の会話が弾んだり。

「オン」と「オフ」の両面のお寺に触れて頂きたく、様々な事に取り組んでいます。



編集後記

平成31年度の第1回定例会が3月18日に終わり、小千谷市の新年度予算が成立しました。今年の冬は暖冬小雪で、おそらく1回も雪下ろしをしなかった家庭も多かったのではないかと思います。山沿いではそうでもなかったようです。気候変動は、人間が自由にできるものではないのですが、近年、さかんに異常気象ではないかと指摘される事が多くなり、気象現象が極端になりつつあると感じています。さて、7名の議員による議会報編集委員会も、今回が最後の担当となります。今年、4月21日に市議会議員選挙が行われ、次号からは新たなメンバーで皆様に「市議会だより」をお届けすることになります。

「市議会だより」は、市議会と市民を結ぶ重要な機関紙です。自由なご意見、ご提案をお待ちしています。

- 編集委員長 佐藤隆一
- 副編集委員長 駒井和彦
- 編集委員 住安康一
- 編集委員 大矢弘光
- 編集委員 佐藤栄作
- 編集委員 内山博志
- 編集委員 久保田陽一
- (編集委員は議席番号順)